

## 【特別支援学校のセンター的機能】

### ～しろがね特別支援学校による地域支援～

特別支援学校のセンター的機能として、専門アドバイザーが中心となり、前橋市・渋川市・吉岡町・榛東村の小学校・中学校・高等学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者の悩みを聞いたりして、発達気になる子ども達についての継続的な支援を行っています。

### 昨年度の相談依頼の件数(外部支援)

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	7件	19件	2件	0件	0件	28件

(その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼)



専門アドバイザーの仕事を紹介します。

4月、5月の年度当初の学級開きの時期は、どの年齢のお子さんをお持ちの先生も、とても苦労されていることと思います。学級作りはこの4、5月に決まると言っても過言ではありません。学級のシステムがきちんと作れているなと思ったクラスを紹介します。

保育園の年長児のクラスを参観したときです。

集団で活動を行う時間に、「リレーの練習をしたい」という子どもの要望により、急きょ、リレーをすることになりました。

すると、子どもたちは男女混合で自主的に1列に並びます。その後、教師は「4

人」と全体に伝えます。その声を聞いた子どもたちは、「1、2、3、4、1、2、3、4…」と号令をかけ始め、その後、各番号の一番前の人「1の人」「2の人」「3の人」…と声をかけ、その番号の人が一列に並んでいました。

参観をしている間に、あっという間に4つのグループができていました。そして、一番前の子どもがバトンを持ち、二番目以降の子どもが座りました。

教師はスタートの合図をするのみです。

後で、担任に聞いてみたところ、どんな学習でもグループを作るときには常にこの方法を使用しているそうです。

この方法は好きな子同士が同じグループになることもありませんし、数字の学習にもなります。また、前の人は何の数と言ったかを意識するという注意の学習にもなります。あるいは、皆に聞こえる声で話す学習にもなります。でも、一番のメリットとしては、子どもたちが見通しを持ち、自主的に動けるという点だと思います。

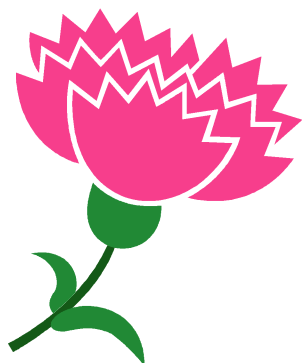
学年始めに当たり、教室でのシステムができているクラスを紹介しました。

今回の事例は保育園児でしたが、小学校や中学校でも素晴らしいクラスがあり、今後、機会を見てご紹介したいと思います。

是非、参考にしてみてください。

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。

お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校

専門アドバイザー 尾岸 純子

電話 027-268-6111

FAX 027-268-6113

mail shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp